



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 セブンシーズホールディングス株式会社

コード番号 3750 URL <http://www.sshd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤堂 裕隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 関 裕司

TEL 03-5771-8531

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	661	△18.7	△10	—	△13	—	△23	—
26年3月期第1四半期	814	60.8	2	—	0	—	△9	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △58百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△16.23	—
26年3月期第1四半期	△11.09	—

※平成25年10月1日付で普通株式100株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	4,145	2,972	71.7	2,066.71
26年3月期	3,879	3,031	78.1	2,107.08

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,972百万円 26年3月期 3,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	41.6	300	△8.9	270	△9.9	230	△24.7	159.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	1,588,704 株	26年3月期	1,588,704 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	150,403 株	26年3月期	150,183 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	1,438,360 株	26年3月期1Q	826,523 株
----------	-------------	----------	-----------

※平成25年10月1日付で普通株式100株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日)における我が国経済は、政府による経済政策への期待感や日銀の金融政策を背景に、企業業績の改善、設備投資の回復、雇用拡大へと繋がり、景気は回復・拡大基調で推移しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、各事業において事業基盤の整備・拡充、ならびに各事業領域における競争力強化、収益性向上に鋭意取り組み、より付加価値の高いサービス、ソリューションの創出とお客様へのご提供を積極的に図ってまいりました。この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は661百万円(前年同四半期比18.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 〔フィナンシャルソリューション事業〕

当事業は、セブンシーズ債権回収(株)、セブンシーズ・アセット・マネジメント(株)及びセブンシーズフィナンシャルソリューションズ(株)から構成されております。

セブンシーズ債権回収(株)は、債権管理回収業に関する特別措置法に定める債権回収会社として、債権の買い取り及び回収業務を行っております。また、セブンシーズ・アセット・マネジメント(株)は不動産売買、企業再生支援などを行った結果、当第1四半期連結累計期間のフィナンシャルソリューション事業の売上高は143百万円(前年同四半期比57.7%減)となりました。

## 〔メディア&amp;マーケティング事業〕

当事業は、(株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアから構成されており、出版広告や印刷の受託業務をはじめ、雑誌及びコンビニエンスストア向けの企画商材の販売等を行っております。

取扱雑誌の広告代理店業務及びコンビニエンスストア向け商材の委託は堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間のメディア&マーケティング事業の売上高は348百万円(前年同四半期比21.3%増)となりました。

## 〔カードソリューション事業〕

当事業は、モバイル・コマース・ソリューション(株)から構成されており、同社は、主にタクシー会社向けのカード決済端末サービスを提供しております。

サービス利用にかかる契約料、取扱高等が堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間のカードソリューション事業の売上高は170百万円(前年同四半期比9.7%減)となりました。

損益面につきましては、営業損失は10百万円(前年同四半期は営業利益2百万円)となり、フィナンシャルソリューション事業に係る創立費及び開業費償却の計上等により経常損失は13百万円(前年同四半期は経常利益0百万円)となりました。また、法人税等を計上したことにより、四半期純損失は23百万円(前年同四半期は四半期純損失9百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ318百万円増加いたしました。これは主に未収入金の前連結会計年度末に比べ減少したものの買取債権が増加したことによるものです。固定資産は461百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が減少したことによるものであります。繰延資産は10百万円となりました。

この結果、総資産は、4,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ321百万円増加いたしました。これは主に短期社債が増加したことによるものであります。固定負債は20百万円となりました。

この結果、負債合計は、1,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月16日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間において、セブンシーズフィナンシャルソリューションズ株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	409,294	434,830
売掛金	434,963	343,296
買取債権	1,280,661	1,859,526
たな卸資産	117,944	311,697
未収入金	1,020,490	620,625
その他	100,853	112,559
貸倒引当金	△8,259	△8,383
流動資産合計	3,355,948	3,674,152
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	146,348	135,291
その他(純額)	11,289	16,209
有形固定資産合計	157,638	151,501
無形固定資産		
のれん	35,687	32,118
その他	14,296	13,655
無形固定資産合計	49,983	45,774
投資その他の資産		
破産更生債権等	336,459	336,259
その他	312,414	273,404
貸倒引当金	△346,687	△345,831
投資その他の資産合計	302,186	263,832
固定資産合計	509,808	461,108
繰延資産	13,547	10,197
資産合計	3,879,304	4,145,458

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	308,530	291,951
短期借入金	-	83,300
未払費用	281,802	277,994
短期社債	-	340,000
その他	241,356	159,451
流動負債合計	831,688	1,152,697
固定負債		
退職給付に係る負債	16,434	17,686
その他	100	2,517
固定負債合計	16,534	20,203
負債合計	848,223	1,172,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,159,830	4,159,830
資本剰余金	1,756,922	1,756,922
利益剰余金	27,830	4,488
自己株式	△2,870,886	△2,871,202
株主資本合計	3,073,696	3,050,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,615	△77,482
その他の包括利益累計額合計	△42,615	△77,482
純資産合計	3,031,081	2,972,557
負債純資産合計	3,879,304	4,145,458

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	814,001	661,908
売上原価	632,531	487,671
売上総利益	181,469	174,236
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	57,196	62,988
その他	121,893	122,058
販売費及び一般管理費合計	179,089	185,046
営業利益又は営業損失(△)	2,380	△10,810
営業外収益		
受取賃貸料	-	2,479
貸倒引当金戻入額	1,109	856
その他	1,802	1,017
営業外収益合計	2,912	4,352
営業外費用		
賃貸費用	-	2,365
創立費償却	1,498	1,816
開業費償却	1,851	1,851
その他	1,168	713
営業外費用合計	4,517	6,746
経常利益又は経常損失(△)	775	△13,203
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	775	△13,203
法人税、住民税及び事業税	2,532	3,070
法人税等調整額	7,408	7,067
法人税等合計	9,940	10,137
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,165	△23,341
四半期純損失(△)	△9,165	△23,341



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,165	△23,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△34,866
その他の包括利益合計	—	△34,866
四半期包括利益	△9,165	△58,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,165	△58,208

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィナンシャル ソリューション事業	メディア& マーケティング事業	カードソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	338,261	287,092	188,647	814,001	—	814,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	338,261	287,092	188,647	814,001	—	814,001
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,653	△6,960	32,571	33,264	△30,884	2,380

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△30,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィナンシャル ソリューション事業	メディア& マーケティング事業	カードソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	143,152	348,352	170,403	661,908	—	661,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	143,152	348,352	170,403	661,908	—	661,908
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△11,620	5,725	30,820	24,925	△35,736	△10,810

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△35,736千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間から、従来の「サービス事業」から「フィナンシャルソリューション事業」に名称及び区分変更をしております。この変更に伴い前第1四半期連結累計期間の組み換えをおこなっております。